

ピアホームだより

2023. 1. 10

新年を迎えて

昨年は、ピアホームの大きな転機を迎えた年でした。

長年懸案だった古い建物のピアホームⅡを建て替え、3名の定員増をして、新しいピアホームⅡとしてスタートを切りました。

グループホーム事業を行って来て、知的障害の皆さんは住まいに期限がないのに比べ、精神障害の皆さんは回復がありうることで期限がありました。リハビリは一生であり、一人暮らしが難しい方も多く、滞在型ホームの拡大の必要性を感じていました。

新しいピアホームⅡをスタート出来た時、障害の娘のためにと思い建てたグループホームⅠのスタートの時の感慨が沸き上がって来ました。

本当に嬉しくて、暫く共有部屋に寝起きしたくらいです。

薬剤師という仕事に就きながら、しかも、向精神薬の開発に携わりながら、精神病の実態も知らずに過ごして来ていました。

娘の発病からこの病気と深く関わることになり、少しは障害理解を深め、何事も当事者の気持ちを理解することの大切さを学びました。

娘の病気は大変辛いことだったので、それは今も私の心に重くのしかかっているのですが、それをきっかけに腹が座り、今日まで無我夢中で事業を行って来ました。

些細なことにあたふたしてしまう日々で、長く携わりながら、大したことも出来ませんでした。充実した日々だったとも思います。

長年のアドボケート会の課題、

1 リトルハウスを引き継ぐこと

2 ピアホームⅡを建て替えること

はなんとか成し遂げました。

そして、ピアホーム(私)を引き継ぐこと

残りの一つを成し遂げて仕事終わりにしたいと思っています。

今年は、第3者評価の年でもあります。新年早々から始まりました。

また、ピアⅡの定員増、ピアⅠの卒業者などがあり、メンバーの大きな入れ替わりがありま

す。新しいメンバーと新しい関係をつくりあげるのもまた一苦労でもあり楽しみでもあります。残り数年、es ist gut と終わるように頑張ろう。

ピアホームの行事

令和4年12月1日、新築してスタートしたピアホームⅡでは、隔週木曜日に食事会を始めました。第1回は15日に実施、第2回からピアホームⅠからも参加して合同の食事会として行くことになりました。

Aさんなど食べるのが大好き、でも糖尿病もあり食事コントロールが必要、そんな人にとっても学ぶ機会になってほしいものです。

ピアホームⅠでは、12月23日、都内でも人気の高い後樂園のイルミネーションを観に行きました。コロナもあって行事が滞りがち、なにやら季節感もない毎日を過ごしていることから、久しぶりに、街の空気を吸い解放された夕べを過ごすことが出来ました。

今月の予定

1月11日:新入居者受け入れ

2月1日:ピアⅠ利用Bさん延長ピアⅡへ